

学校だより

6月号

港区立白金小学校

発行人 吉野 達雄
令和三年 六月一日



できることを見付けよう

校長 吉野 達雄

毎朝、アサガオに水やりをしている一年生の微笑ましい姿を目にします。大きく育ってほしいのですが、水でお腹いっぱいになりすぎないように気を付けているそうです。かわいいですね。今は、双葉から本葉が数枚出たところで、やがてツルが伸び、夏にはきれいな花がたくさん咲くと思います。ところで、アサガオには「愛情」や「結束」などという花言葉があることはご存じですか。それはツルが支柱にしっかりと巻き付くところからつけられたものです。もしかすると、相手を思いやることや友達を信じて人と人がしっかりとつながることもアサガオの学習から学べるかもしれません。昨年度までの生活科ではアサガオを育て、成長を観察する学習を中心に行ってきました。しかしこの花言葉のように、まったく違う切り口からアサガオを捉えることで、新たな子供の学びを創造することもできそうです。きっと私たちが見方や考え方を少し工夫することで新しい姿（価値）をみせてくれるものはたくさんあるでしょう。

緊急事態宣言下、子供や学校を取り巻く環境が変わり、生活が制限されストレスや不安を抱えている人たちが増えています。白金小学校では、「できないことが多い」ではなく「できることを見付けよう」という前向きな気持ちを大切にして、教育活動を工夫しています。今だからこそ見付けられる新しい価値を探し、子供たちの学びを止めるのではなく、さらに充実させたいと考えています。

【コロナ禍の教育活動について】

子供たちのことを第一に考えている保護者の皆様にとって、不安や心配になることも多いと思います。緊急事態宣言は延長されましたので、引き続き、感染症対策を徹底するとともに港区教育委員会のガイドラインを遵守し、安全な環境づくりに努めてまいります。保護者の皆様、不安や心配なこと、また疑問に思うことがあれば、ぜひ、学校にお問い合わせください。コロナ禍の教育活動以外の問い合わせでも結構です。

水泳指導について

体育部 角井 宏佳

今年度は、六月十四日(月)から水泳学習を始めます。水泳は体全体を使った運動で、全身の筋力を鍛え、心肺機能を高めることができます。白金小学校では、以下の三つを目標として水泳の学習を行います。

- 一、水に慣れ、全身運動としての水泳を通して、健康な心身の育成をはかる。
- 二、自己の能力に適した課題をもって水泳に取り組み、技術の向上をはかる。
- 三、水泳学習の諸注意をよく理解し、安全に水泳ができる態度を養う。

水泳は、児童が心待ちにしている学習の一つです。しかし、油断すると生命に関わる大きな事故につながってしまいます。学校では、万が一に備えて、高輪消防署の方に来ていただき、心肺蘇生法の研修を行います。

また、今年度はコロナウイルス感染症防止対策としてこのような取組を行います。

- ① 水泳指導は学年単位では行わず、ニクラスずつに人数を減らしての実施とします。
- ② プールでは1.5m程度のソーシャルディスタンスを保つようにします。
- ③ 指導にあたる教員は、水泳用のマスクを着用します。
- ④ 共有部分の消毒を行います。

安全・安心な水泳学習となるように努めてまいります。



白金小学校
Twitter



学校HPからも
入れます。